

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 27 年 5 月 28 日 (2015.5.28)

【公表番号】特表 2014-513467 (P2014-513467A)

【公表日】平成 26 年 5 月 29 日 (2014.5.29)

【年通号数】公開・登録公報 2014-028

【出願番号】特願 2014-503595 (P2014-503595)

【国際特許分類】

H 0 4 W 74/08 (2009.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 74/08

H 0 4 W 72/04 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 4 月 6 日 (2015.4.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システムでの端末のランダムアクセス手続き制御方法において、

プライマリセル又はセカンダリ上からランダムアクセスプリアンプルを送信する段階と

、

前記ランダムアクセスプリアンプルの伝送回数に基づいて、ランダムアクセス問題が感知されたか決定する段階と、

もし、前記ランダムアクセスプリアンプルが前記プライマリセルから送信された場合、前記ランダムアクセス問題を上位階層に指示する段階と、

もし、前記ランダムアクセスプリアンプルが前記セカンダリセルから送信された場合、前記ランダムアクセス手続きが失敗して完了したものと決定する段階と

を含むことを特徴とするランダムアクセス手続き制御方法。

【請求項 2】

もし、前記ランダムアクセス問題が前記プライマリセル上から感知された場合、無線資源制御 (radio resource control, RRC) 連結再設立 (connection re-establishment) 手続きを実行する段階をさらに含むことを特徴とする請求項 1 記載のランダムアクセス手続き制御方法。

【請求項 3】

もし、前記ランダムアクセス問題が前記プライマリセル上から感知されて解決されなかった場合、前記 RRC 連結再設立手続きを実行する段階をさらに含むことを特徴とする請求項 2 記載のランダムアクセス手続き制御方法。

【請求項 4】

前記 RRC 連結再設立手続き実行段階は、

もし、前記ランダムアクセス問題が前記プライマリセル上から感知された場合、タイマーを始める段階と、

前記タイマーが満了すると、前記 RRC 連結再設立手続きの実行を中止する段階とをさらに含むことを特徴とする請求項 3 記載のランダムアクセス手続き制御方法。

【請求項 5】

前記ランダムアクセス手続きが失敗して完了したものと決定する段階は、

もし、前記ランダムアクセスプリアンブルが前記セカンダリセル上から伝送された場合、前記ランダムアクセス手続きを中止する段階をさらに含むことを特徴とする請求項 1 記載のランダムアクセス手続き制御方法。

【請求項 6】

前記ランダムアクセス問題は、前記基地局からランダムアクセス応答が受信されない場合に感知されることを特徴とする請求項 1 記載のランダムアクセス手続き制御方法。

【請求項 7】

無線通信システムの端末において、

基地局と信号を送受信する送受信部と、

プライマリセル又はセカンダリ上からランダムアクセスプリアンブルを伝送し、前記ランダムアクセスプリアンブルの伝送回数に基づいて、ランダムアクセス問題が感知されたが決定し、もし前記ランダムアクセスプリアンブルが前記プライマリセルから伝送された場合、前記ランダムアクセス問題を上位階層に指示し、もし前記ランダムアクセスプリアンブルが前記セカンダリセルから伝送された場合、前記ランダムアクセス手続きが失敗して完了したものと決定するように制御する制御部と

を含むことを特徴とする端末。

【請求項 8】

前記制御部は、

もし、前記ランダムアクセス問題が前記プライマリセル上から感知された場合、無線資源制御 (radio resource control, RRC) 連結再設立 (connection re-establishment) 手続きを実行するように制御することを特徴とする請求項 7 記載の端末。

【請求項 9】

前記制御部は、

もし、前記ランダムアクセス問題が前記プライマリセル上から感知されて解決されなかった場合、前記 RRC 連結再設立手続きを実行するように制御することを特徴とする請求項 8 記載の端末。

【請求項 10】

前記制御部は、

もし、前記ランダムアクセス問題が前記プライマリセル上から感知された場合、タイマーを始め、前記タイマーが満了すると、前記 RRC 連結再設立手続きの実行を中止するように制御することを特徴とする請求項 9 記載の端末。

【請求項 11】

前記制御部は、

もし、前記ランダムアクセスプリアンブルが前記セカンダリセル上から伝送された場合、前記ランダムアクセス手続きを中止するように制御することを特徴とする請求項 7 記載の端末。

【請求項 12】

前記ランダムアクセス問題は、前記基地局からランダムアクセス応答が受信されない場合に感知されることを特徴とする請求項 7 記載の端末。